



Obihiro Aoi Gakuen Information

学校法人 帯広葵学園

学園通信

◆2021年(令和3年)2月19日発行

◆Vol.43

故きを温ねて、新しきを知る 葵学園のあしあと④

(平成27年2月6日 十勝毎日新聞)

平成28年度『認定こども園』へ始動

学校法人帯広葵学園

理事長 上野敏郎

社会全体で子育てを応援したいーとは、国が平成22(2010)年に示した「子ども・子育てビジョン」の中で強調した考え方です。でも、この考え方はことさらに特別扱いするほどのものではありません。

わが国には、「子どもは国の宝」とする伝統的な考え方があります。「子にまざる宝なし」「千の倉より子の宝」とも言われてきました。

この考え方をより分かりやすくしたのが、わが国の『児童憲章』です。帯広葵学園は、この『児童憲章』を力にすることを目指しています。帯広葵学園関係者には、今一度『児童憲章』12の条文に目を通すようお願いします。

さて、国は平成27(2015)年度より「子ども・子育て関連3法」の中の「幼保一体論」を受け、新しい制度を発足させることにしました。それが「幼保連携型認定こども園」です。

これまでわが国は、学校教育法と児童福祉法で「幼稚園」と「保育園」に対応してきました。しかし、この二つは目的も機能も違うものとして位置づけられてきたのです。そこには、親の就労がある、ながし振り分けの基準としてありました。

しかし、世の中は変わります。親の就労環境に大きな変化があるにも関わらず、わが国はその対策が不十分のまま長い時を刻んできたのです。新しく発足する「認定こども園」の制度は、この親の就労や家庭の状況に左右されることなく、すべての子どもを対象にしたものです。

帯広葵学園は、この制度は新しい学園づくりに必要と考えました。そして一年半の準備期間を経て、平成28(2016)年度からこの制度へ移行することにしたのでした。当時帯広葵学園は、主に帯広の森幼稚園とつじが丘幼稚園の2園のみを運営していました。

(参考資料:平成27年2月6日付け 十勝毎日新聞)

十勝毎日新聞

市内4私立幼稚園 認定こども園移行

帯広の森・つじが丘・ひまわり・第二ひまわり

2016年度から

来年度から始まる国の新たな「子ども・子育て支援制度」に基づき、帯広市内も4私立幼稚園が2016年度から市内では初めて認定こども園に移行することが分かった。市内では15年度に移行する園はない。

16年度に移行するのは、学校法人帯広葵学園(上野敏郎理事長)の帯広の森幼稚園とつじが丘幼稚園、学校法人みどり学園(佐藤三幹理事長)の帯広ひまわり幼稚園と帯広第二ひまわり幼稚園。

認定こども園は、幼稚園と保育所の機能が一体となった施設。保護者の就労状況にかかわらず子供を預けることができる。4園とも友働き世代の増加や保護者のニーズに応じて3歳未満児を受け入れ、通常午前9時から午後2時までの保育時間外の預かり保育にも取り組んできた。

今年度の移行も検討していきたいという帯広葵学園の上野敏郎理事長は「幼稚園、保育所と区分する時代ではなくってきた。幼稚園の中に保育機能を取り込むことで、より複眼的な視点で子供を見ることができるとする。」

音更大谷幼稚園 定員20人増へ 道私学審議会答申

道私学審議会答申

【札幌】今年度第3回の道私立学校審議会が5日、道庁赤レンガ庁舎で開かれた。帯広大谷学園(帯広、伊藤篤理理事長)が運営する音更大谷幼稚園(音更町柏寿台1、伊藤篤理園長)の定員を現行の140人から20人増の160人に変更する諮問を、認可可とする答申をした。(原山知寿子)



学校法人 帯広葵学園

〒080-0022

帯広市西12条南17丁目3 難波ビル2F

TEL 0155-23-7604 / FAX 0155-67-5778

URL <http://www.obihiraaoi.ed.jp>

帯広の森幼稚園



つじが丘幼稚園



緑陽台認定こども園



012 青い鳥保育園



柳町保育園



012 おびもり



あおいキッズランド



あおいキッズハウス



あおいとり



東土狩保育所・南中保育所・西中保育所